



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場会社名 日本新薬株式会社

上場取引所 東大

コード番号 4516 URL <http://www.nippon-shinyaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前川 重信

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務部長 (氏名) 櫻井 太郎

TEL 075-321-9114

四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向けカンファレンスコール)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	50,423	7.4	5,200	31.4	5,336	25.5	3,081	1.4
23年3月期第3四半期	46,957	△3.2	3,957	△42.5	4,252	△40.9	3,038	△29.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 2,467百万円 (15.1%) 23年3月期第3四半期 2,143百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	45.65	—
23年3月期第3四半期	44.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	103,671	82,859	79.7
23年3月期	102,737	81,692	79.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 82,670百万円 23年3月期 81,515百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.00	—	10.00	19.00
24年3月期	—	9.00	—		
24年3月期(予想)				10.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,500	4.7	5,500	6.2	5,800	5.9	3,600	△9.1	53.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	70,251,484 株	23年3月期	70,251,484 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	2,754,135 株	23年3月期	2,740,568 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	67,504,317 株	23年3月期3Q	67,534,427 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。連結業績予想に関する事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、カンファレンスコール(電話会議)による機関投資家・アナリスト向け決算説明会を平成24年2月6日17時より開催する予定です。この説明会で使用する資料については、決算発表と同時にTDnet及び当社ホームページで開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8
(7) 追加情報（法人税率の変更等による影響）	8
3. 補足情報	9
(1) 主力製品売上高	9
(2) 製品開発状況	10
(3) 製品開発状況・補足資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～12月31日）の当社グループを取り巻く環境は、医薬品業界においては後発品処方促進策等の医療費抑制のための諸施策が引き続き推進され、食品業界においては引き続き低価格志向の動きが激しく、それぞれ厳しい状況が続いております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は504億2千3百万円と対前年同期比7.4%の増収となりました。利益面では、営業利益は52億円（対前年同期比31.4%増益）、経常利益は53億3千6百万円（対前年同期比25.5%増益）、四半期純利益は30億8千1百万円（対前年同期比1.4%増益）となりました。前年同四半期に計上した特別利益が当四半期にはないこと、法定実効税率の変更に伴い法人税等調整額が増加したことなどから、四半期純利益は微増益に止まりました。

医薬品事業では、前立腺肥大症治療剤「エビプロスタット」や非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤「ハイペン」等の売上が減少しましたが、月経困難症治療剤「ルナベル」、肺動脈性肺高血圧症治療剤「アドシルカ」等の売上が伸長しました。また、平成23年3月に発売した骨髄異形成症候群治療剤「ビダーザ」の売上が大きく寄与しました。その結果、売上高は414億7千3百万円と対前年同期比7.6%の増収となりました。

機能食品事業では、加工食品業界、健康食品業界とも厳しい状況が続く中、健康食品素材は売上を大きく伸ばし、ニュートリション素材、品質安定保存剤も伸長、たん白製剤は堅調に推移しました。その結果、売上高は89億5千万円と対前年同期比6.3%の増収となりました。

[研究開発の状況]

国内では、アルコール依存症患者の断酒補助剤「NS-11（一般名：アカンプロサートカルシウム）」について、第三相試験を終了し、申請に向けて準備中です。日本イーライリリー株式会社から導入した「LY450190（一般名：タダラフィル）」については、同社が、前立腺肥大症に伴う排尿障害治療剤として第三相試験を実施中です。非麻薬性鎮痛剤「NS-315（一般名：トラマドール塩酸塩）」は、非がん性慢性疼痛への効能追加について、第三相試験を実施中です。経口持続性鎮痛剤「NS-24（一般名：トラマドール塩酸塩）」については、がん疼痛および非がん性慢性疼痛を対象とした第三相試験を準備中です。肺動脈性肺高血圧症治療剤「ACT-064992（一般名：マシテンタン）」については、アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社と共同で第三相試験を準備中です。肺高血圧症治療剤「NS-304（一般名：セレキシパグ）」については、アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社と共同で、慢性血栓性肺高血圧症、肺動脈性肺高血圧症を対象とした第二相試験を実施中です。抗そう痒剤「NST-141」については、大鵬薬品工業株式会社と共同でアトピー性皮膚炎に伴うそう痒を対象とした第二相試験を実施中です。

海外では、合成抗菌剤「プルリフロキサシン」について、中国で導出先のリーズ・ファーマ社（香港）が第三相試験を準備中です。「NS-304」については、導出先のアクテリオン ファーマシューティカルズ社（スイス）が肺動脈性肺高血圧症を対象とした第三相試験を実施中です。サイトレックス社（米国）へ導出したチロシンキナーゼ阻害剤「NS-187（一般名：パフェチニブ）」については、B細胞性慢性リンパ性白血病、進行性前立腺がんを対象とした第二相試験を実施中です。骨髄線維症治療剤「NS-018」については、米国において第一/二相試験を実施中です。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、1,036億7千1百万円と前連結会計年度末に比べ9億3千3百万円の増加となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金、たな卸資産、現金及び預金等が増加、有価証券、繰延税金資産等が減少し、642億2千2百万円と前連結会計年度末に比べ34億7千3百万円の増加、固定資産は、投資その他の資産等が減少し、394億4千8百万円と前連結会計年度末に比べ25億3千9百万円の減少となりました。

負債は、支払手形及び買掛金等が増加、賞与引当金等が減少し、208億1千1百万円と前連結会計年度末に比べ2億3千2百万円の減少となりました。

純資産は、その他の包括利益累計額合計は減少しましたが、利益剰余金が増加し、828億5千9百万円と前連結会計年度末に比べ11億6千6百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、概ね当初の計画に沿って推移しており、連結業績予想につきましては、平成23年5月12日の決算公表時より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,424	12,153
受取手形及び売掛金	27,573	32,115
有価証券	7,009	5,249
商品及び製品	6,908	7,091
半製品	1,029	1,202
仕掛品	362	273
原材料及び貯蔵品	3,248	3,987
繰延税金資産	1,518	933
その他	1,675	1,215
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	60,749	64,222
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,224	7,743
土地	8,118	8,118
その他（純額）	2,480	2,300
有形固定資産合計	18,823	18,162
無形固定資産	672	573
投資その他の資産		
投資有価証券	11,002	9,576
繰延税金資産	450	771
長期前払費用	8,866	8,362
その他	2,210	2,042
貸倒引当金	△37	△40
投資その他の資産合計	22,492	20,712
固定資産合計	41,988	39,448
資産合計	102,737	103,671

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,297	6,073
未払金	2,805	2,748
未払法人税等	598	394
賞与引当金	2,319	1,185
その他	1,881	2,467
流動負債合計	12,902	12,868
固定負債		
繰延税金負債	0	0
退職給付引当金	7,718	7,513
その他	423	429
固定負債合計	8,142	7,942
負債合計	21,044	20,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,174	5,174
資本剰余金	4,444	4,445
利益剰余金	71,108	72,907
自己株式	△2,058	△2,072
株主資本合計	78,669	80,454
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,880	2,260
繰延ヘッジ損益	2	△2
為替換算調整勘定	△36	△42
その他の包括利益累計額合計	2,845	2,215
少数株主持分	177	189
純資産合計	81,692	82,859
負債純資産合計	102,737	103,671

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	46,957	50,423
売上原価	22,259	24,152
売上総利益	24,697	26,271
返品調整引当金戻入額	25	—
差引売上総利益	24,722	26,271
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	6,049	6,103
賞与引当金繰入額	742	772
販売促進費	919	777
退職給付引当金繰入額	784	799
減価償却費	278	278
研究開発費	6,395	6,855
その他	5,596	5,484
販売費及び一般管理費合計	20,765	21,070
営業利益	3,957	5,200
営業外収益		
受取利息	35	21
受取配当金	323	256
受取賃貸料	278	253
その他	276	93
営業外収益合計	914	624
営業外費用		
支払利息	7	6
寄付金	128	125
投資有価証券売却損	—	119
為替差損	272	42
固定資産処分損	13	6
賃貸費用	82	84
その他	115	103
営業外費用合計	619	488
経常利益	4,252	5,336
特別利益		
過年度損益修正益	591	—
特別利益合計	591	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	133	—
特別損失合計	133	—
税金等調整前四半期純利益	4,710	5,336
法人税、住民税及び事業税	891	1,353
法人税等調整額	766	886
法人税等合計	1,658	2,239
少数株主損益調整前四半期純利益	3,052	3,097
少数株主利益	14	16
四半期純利益	3,038	3,081

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,052	3,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△892	△620
繰延ヘッジ損益	△7	△4
為替換算調整勘定	△8	△5
その他の包括利益合計	△908	△629
四半期包括利益	2,143	2,467
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,129	2,451
少数株主に係る四半期包括利益	14	16

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	医薬品	機能食品	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	38,538	8,418	46,957	—	46,957
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	38,538	8,418	46,957	—	46,957
セグメント利益	3,605	351	3,957	—	3,957

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	医薬品	機能食品	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	41,473	8,950	50,423	—	50,423
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	41,473	8,950	50,423	—	50,423
セグメント利益	4,864	335	5,200	—	5,200

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

(7) 追加情報（法人税率の変更等による影響）

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の41%から、平成24年4月1日に開始する連結会計年度から平成26年4月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については38%に、平成27年4月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については36%となります。この税率変更により、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は165百万円減少し、法人税等調整額は309百万円増加しております。

3. 補足情報

(1) 主力製品売上高

(単位:百万円)

製 品 名	薬 効	第3四半期累計				通 期	
		H23年 3月期	H24年 3月期	前年同期 増減率	進捗率	H23年 3月期	H24年 3月期(予)
エビプロスタット	前立腺肥大症治療剤	4,902	4,588	△ 6.4%	77.8%	6,342	5,900
ガスロンN	粘膜防御性胃炎・胃潰瘍治療剤	3,481	3,734	7.3%	76.2%	4,540	4,900
ハイベン	非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤	3,776	3,445	△ 8.8%	78.3%	4,846	4,400
ビダーザ	骨髄異形成症候群治療剤	-	3,262	-	77.7%	302	4,200
ルナベル	月経困難症治療剤	2,351	2,836	20.7%	76.7%	3,107	3,700
シアリス	勃起不全(ED)治療剤	2,056	2,299	11.9%	71.9%	2,675	3,200
セファドール	抗めまい剤	2,088	2,035	△ 2.5%	78.3%	2,696	2,600
ブラダロン	頻尿治療剤	2,146	1,957	△ 8.8%	75.3%	2,769	2,600
セレクトール	血管拡張性β1遮断薬	2,223	1,939	△ 12.7%	74.6%	2,852	2,600
エストラサイト	前立腺癌治療剤	2,028	1,886	△ 7.0%	75.5%	2,630	2,500
アズノールうがい液	アズレン含嗽液	1,849	1,880	1.6%	78.3%	2,470	2,400
キロサイド	代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤	2,106	1,822	△ 13.5%	79.2%	2,651	2,300
バイナス	アレルギー性鼻炎治療剤	1,297	1,282	△ 1.2%	51.3%	2,610	2,500
リボスチン	アレルギー性鼻炎治療剤 アレルギー性結膜炎治療剤	511	411	△ 19.5%	34.3%	1,920	1,200
工業所有権等収益		96	92	△ 4.0%	92.4%	123	100
プルリフロキサシン原薬		982	642	△ 34.6%	75.6%	982	850
医薬品 計		38,538	41,473	7.6%	74.9%	52,554	55,400
機能食品 計		8,418	8,950	6.3%	80.6%	10,970	11,100
売上高		46,957	50,423	7.4%	75.8%	63,525	66,500

(2) 製品開発状況

<国内開発状況>

開発段階	開 発 記 号 (一 般 名)	領域分類	適 応	オ リ ジ ン	開 発
申請準備中	NS-11 (アカンプロサートカルシウム)	その他	アルコール依存症患者の 断酒補助	導入： メルセロノ社(スイス)	自社
P III	LY450190 (タダラフィル)	泌尿器系	前立腺肥大症 に伴う排尿障害	導入： 日本イーライリリー	日本イーライリリー
P III	NS-315 (トラマトール塩酸塩)	炎症・ アレルギー系	非がん性慢性疼痛	導入： グリュネンタル社(独)	自社
P III準備中	NS-24 (トラマトール塩酸塩)	炎症・ アレルギー系	がん疼痛 非がん性慢性疼痛	導入： パラティン社(カナダ)	自社
P III準備中	ACT-064992 (マシテンタン)	循環代謝系	肺動脈性肺高血圧症	導入： アクテリオン社(スイス)	共同： アクテリオン・ジパパン
P II	NS-304 (セレキシパグ)	循環代謝系	慢性血栓塞栓性肺高血圧症 肺動脈性肺高血圧症	自社	共同： アクテリオン・ジパパン
P II	NST-141	炎症・ アレルギー系	アトピー性皮膚炎に伴う そう痒	自社	共同： 大鵬薬品工業

<海外開発状況>

開発段階	開 発 記 号 (一 般 名)	領域分類	適 応	オ リ ジ ン	開 発
発売準備中	NM441 (プルリフロキサシ)	感染症	合成抗菌剤	自社	導出： 柳韓洋行社(韓)
P III準備中					導出： リーズ・ファーマ社(香港)
P III	NS-304 (セレキシパグ)	循環代謝系	肺動脈性肺高血圧症	自社	導出： アクテリオン社(スイス)
P II	NS-187 (バフェチニブ)	血液がん	B細胞性慢性リンパ性白血病 進行性前立腺がん 慢性骨髄性白血病(P II準備中) 多形性膠芽腫(P I)	自社	導出： サイトレックス社(米)
P I/II	NS-018	血液がん	骨髄線維症	自社	自社

(3) 製品開発状況・補足資料

申請準備中	
NS-11 (アカン ^ポ オ ^ト カルシウム)	メルクセローノ社（スイス）から導入したアルコール依存症患者の断酒補助剤で、既に欧米で発売済み。国内ではPⅢ試験を終了し、申請に向けて準備中。
フェーズⅢ	
LY450190 (タ ^ラ フィ ^ル)	前立腺肥大症に伴う排尿障害治療剤で、国内は日本イーライリリーがPⅢ試験を実施中。
NS-304（海外） (セ ^レ キ ^シ ハ ^グ)	自社開発したプロドラッグ型経口剤で、活性代謝物が長時間血中に持続し、強力かつ選択的なPGI ₂ アゴニスト活性を示す。肺高血圧症治療剤として、欧州医薬品局よりオーファン指定済み。導出先のアクテリオン社（スイス）が日本を除く全世界で肺動脈性肺高血圧症を対象としたPⅢ試験を実施中。
NS-315 (トラ ^マ ド ^{ール} 塩酸塩)	グリュネンター社（独）から導入した非麻薬性の経口鎮痛剤で、世界100カ国以上で販売されている。非がん性慢性疼痛について、PⅢ試験を実施中。
フェーズⅢ準備中	
NS-24 (トラ ^マ ド ^{ール} 塩酸塩)	パラディン社（旧ラボファーム社）（カナダ）より導入した経口持続性鎮痛剤でトラマドール塩酸塩の1日1回製剤である。海外では、中等度から中高度の痛みを適応として、すでに世界19カ国で発売されている。国内では、がん疼痛および非がん性慢性疼痛を対象としたPⅢ試験開始に向けて準備中。
ACT-064992 (マ ^シ テン ^タ ン)	アクテリオン社より導入した肺動脈性肺高血圧症治療剤で、海外ではアクテリオン社がPⅢ試験を実施中である。国内は、今後、アクテリオン・ジャパンと共同でPⅢ試験を開始する予定。マシテンタンはアクテリオン社で創製された高活性の組織特異的エンドセリン受容体デュアルアンタゴニスト。
フェーズⅡ	
NS-304（国内） (セ ^レ キ ^シ ハ ^グ)	国内は、アクテリオン・ジャパンとの共同開発。慢性血栓塞栓性肺高血圧症、肺動脈性肺高血圧症を対象としたPⅡ試験を実施中。
NS-187 (ハ ^フ エチ ^ブ)	Bcr-AblチロシンキナーゼとLynチロシンキナーゼを強力に阻害、イマチニブ耐性にも奏効する。導出先のサイトレックス社（米国）が、B細胞性慢性リンパ性白血病、進行性前立腺がんを対象としたPⅡ試験を実施中。また、慢性骨髄性白血病についてはPⅡ試験を準備中。多形性膠芽腫については、脳腫瘍患者を対象にPⅠ試験を実施中。
NST-141	自社開発した抗ヒスタミン作用ではない新規作用機序の外用剤で、既存の薬剤が奏効しない難治性のそう痒に対しても効果が期待できる。大鵬薬品工業と共同で、アトピー性皮膚炎に伴うそう痒を対象としたPⅡ試験を実施中。
フェーズⅠ/Ⅱ	
NS-018	自社開発したJAK2チロシンキナーゼ阻害剤で、強力な阻害作用と活性化型JAK2チロシンキナーゼに対する選択性が高いことから、有効性の向上と副作用の軽減が期待される。国内の患者数が少ないことから、海外での臨床試験を先行し、米国において骨髄線維症患者を対象としたPⅠ/Ⅱ試験を実施中。